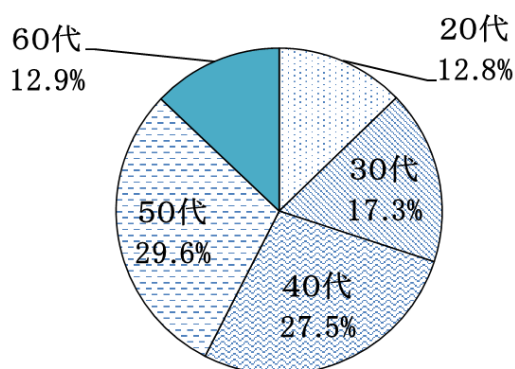


令和7年度 夏季講習会アンケート集計結果（回収数 667 名）

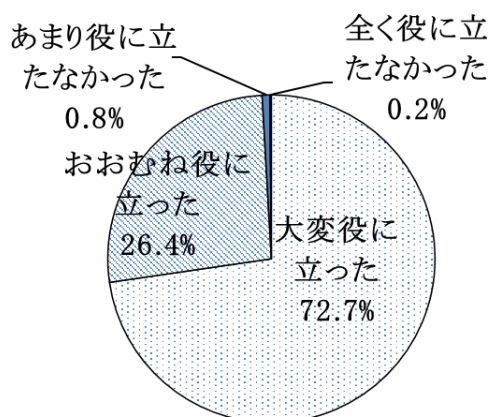
付属工業教育研究所

(1) あなたの年齢に関して、その年代を教えてください。



- 令和4年度から Web 入力によるアンケート調査にした結果、令和5、6年度の回答率は53.8%、66.6%、令和7年度は71.2%と3年連続上昇傾向にある。開催団体には、終了時等で二次元コードによるアンケート協力をお願いしているが、未実施の団体もあり、来年度も粘り強く協力を要請する。
- 参加者の年齢層は40歳代と50歳代が6割を占め、再任用教員の60歳代は昨年度より1.4%増加した。

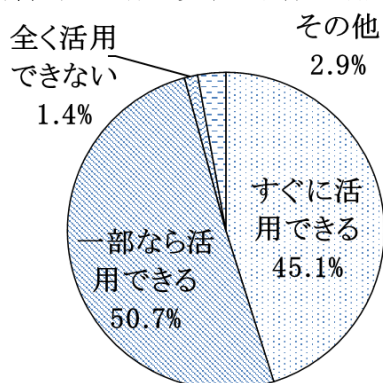
(2) 講習会の講義及び実習内容について、あなたはどのように感じましたか。



役に立たなかった理由、その他

- 機器説明の時間が多く実習が少なかった。
- 体験と記載されていたにもかかわらず、実際には実施しなかった。
- プログラムやデバイスについて初学者でも学べると思っていた。
- 理解するには進捗が早い。
- 説明時間が短く「触って覚えてください」だった。
- 自分にとっては早くてついていけなかった。

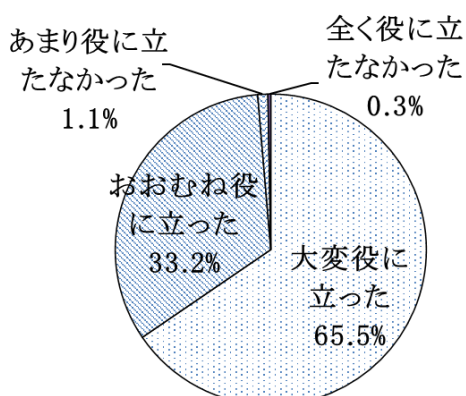
(3) 講習会の内容が現場の授業に活用できますか。



全く活用できない、その他の理由

- こちらが期待しているのは社会人の趣味ではない。
- 実施する環境（実機等）が導入されていない。
- 受講者（私本人）の能力と理解力が足りないため。
- 最先端の技術のため、現場にどう活かすかを考える必要がある。
- 予算の関係がクリアになれば非常に面白い。
- これからの導入するための講習会参加でした。

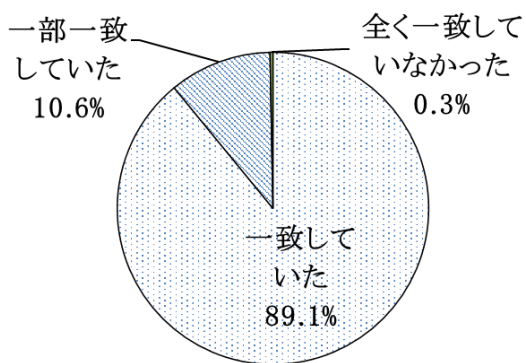
(4) 講義用教材について、あなたはどのように感じましたか。



あまり、全く役に立たなかった理由、その他

- ただ聞いているだけで得るものはほとんどない。
- 実際の講習会が内容と異なっているため。
- 非常に貴重な場であったが、既に理解している内容が多かったため。
- 現場で反映しづらい。パソコンに不慣れな子はしんどい。
- 画像が多く大きいのは良いが、説明が足りない。

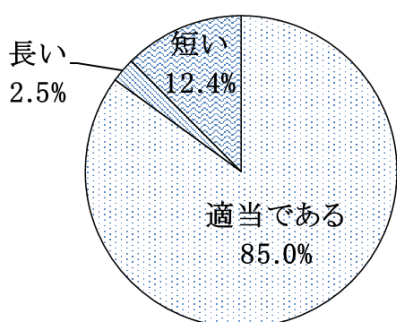
(5) 講義の内容とテーマが一致していましたか。



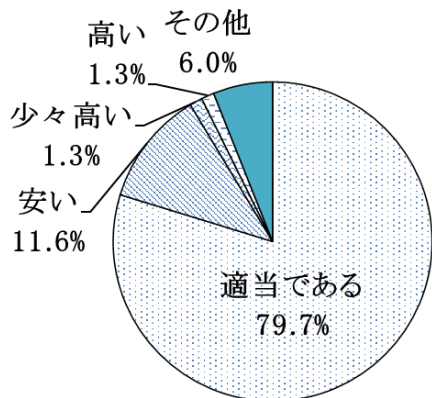
全く一致していなかった理由、その他

- ・講習内容に一通り経験すると記載があるが、それはわずか20分で完結する話であった。
- ・タイトルのような「AIを活用」の部分が感じられなかったため。

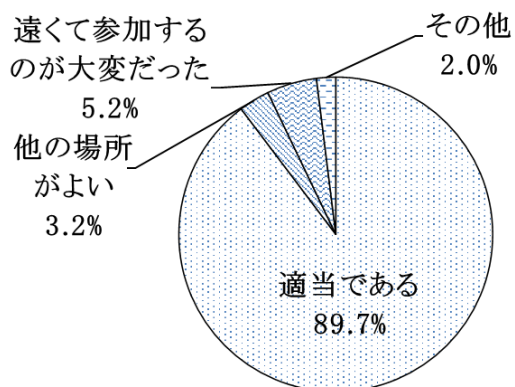
(6) 講習会の期間についてお尋ねします。



(7) 資料代のある講習会は金額と講習内容についてどうですか。



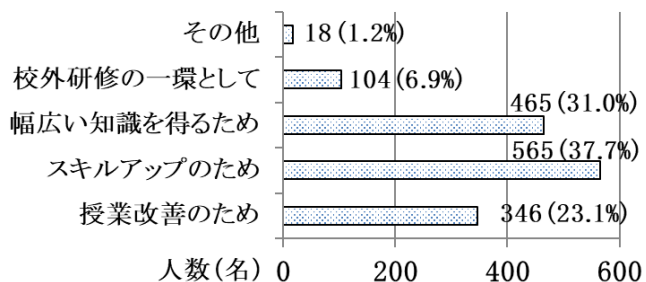
(8) 参加した講習会場の位置についてお答えください。



その他の理由

- ・貴校の都合で場所が変更されたので便利だった。
- ・内容的には、WEBでも可能であった。
- ・位置は良いが部屋が狭く押し込めすぎていると感じた。
- ・オンライン講習会ではないほうがよかった。
- ・Teamsを用いたリモート講座であったが、トラブルもなく受けられた。
- ・遠方だが目的地のため仕方ない。

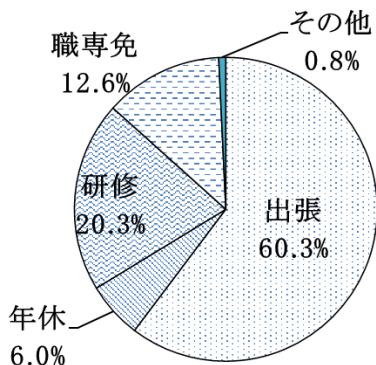
(9) 講習会を受講された動機をお聞かせください。(設問に対する複数回答あり)



その他の理由

- ・授業(実習)で関連分野(ソフト導入、加工機設置、ロボット・ドローン実習等)をやるため。
- ・匠の技 pro 事業の一環として参加。
- ・課題研究、部活動への活用。
- ・高卒採用について、企業側の現状認識を知りたかったゆえ。
- ・他県の高校や大学との情報交換。

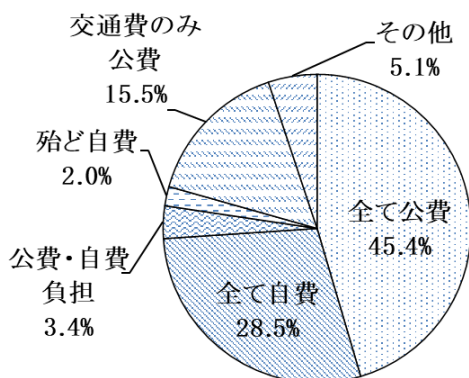
(10) 講習会参加の勤務の取り扱いについて。



その他の理由

- ・オンライン講習会のため通常勤務。

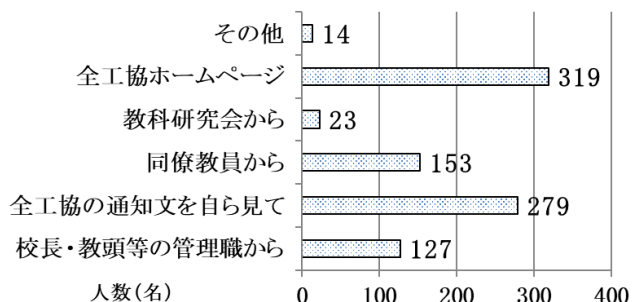
(11) 講習会の費用はどうされましたか。



その他の理由

- ・交通費は自費。
- ・交通費と宿泊費は上限まで公費(超えた分は自費)。
- ・オンラインのため負担なし。
- ・ほとんど公費。
- ・交通費と宿泊費のみ公費。
- ・宿泊のみ公費。
- ・費用の一部に公費助成。
- ・他団体からの支出。

(12) 講習会を受講するに当たり、どこから情報を得ましたか。(設問に対する複数回答あり)



その他の理由

- ・愛知県産業振興課 SIer 協会。
- ・元同僚教員から。
- ・関係団体の方から。
- ・校内回覧。
- ・企業の方に直接伺いました。
- ・研修先の研修内容(別コース)に興味があり、自費での参加を考えていた。

(13) 意見

①どんな講習会を希望するか

- ・ロボット技術(特別教育修了証取得)や現場見学
- ・機械保全や安全教育に関する講習会
- ・AIに関する知識・スキルを身につける研修
- ・生成AIを活用した授業やものづくりの実例紹介
- ・機械加工技術研修(MC・フライス盤・板金加工)
- ・DXやIoTに関する研修
- ・デザイン系の講習会(過去に実施事例あり)
- ・建築関係の講習会(CADソフト等)

- ・講義よりも実技が多い講習会
- ・化学分析技術 計算機（数値）シミュレーション
- ・ネットワーク構築、ルータ、スイッチ設定
- ・応用情報技術者試験を受験する生徒の指導に対しての講習会
- ・ヒューマノイド型ロボットについて
- ・電気施工管理（工事を含む）、技術について希望
- ・九州開催の講座数の増加と、PLC の応用講座を希望
- ・ドローンの免許講習（実費高額でなければ受講希望）
- ・SOLIDWORKS 同様、AutoCAD の講習会を実施
- ・生徒指導研修、学校の組織に関する研修など
- ・Adobe、Photoshop や Illustrator の研修
- ・今回参加した講習会の上位講習を受講したい
- ・管工事（空調等）
- ・3D プリンタを活用した講習会

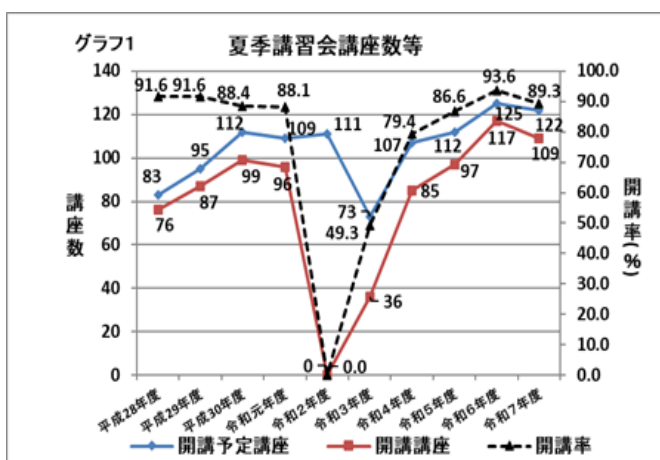
- ・各種工業分野の工場見学や、通常ではなかなか見られないような工場、施設見学など
- ・土木系の講習会があれば参加したい
- ・工作機械メーカー主催の講習、技能士によるスキル別技能講習
- ・進路希望の多い鉄道関係の講習会
- ・ベンチャーなど産業起業に関する講習会
- ・宇宙関係、ロケット、人工衛星、人工知能、人型ロボット（テスラ社）、空飛ぶ車
- ・発電所の見学
- ・大阪会場を多くして欲しい
- ・大学関係の講習会がたくさんあると良い
- ・オンデマンド制作講習
- ・危険物乙四類の合格率 UP の講習会（年々合格率が下がっているため）
- ・国家資格を取得できるような講習会
- ・新時代を見据えた講習

(14) 夏季講習会の開講率と受講率

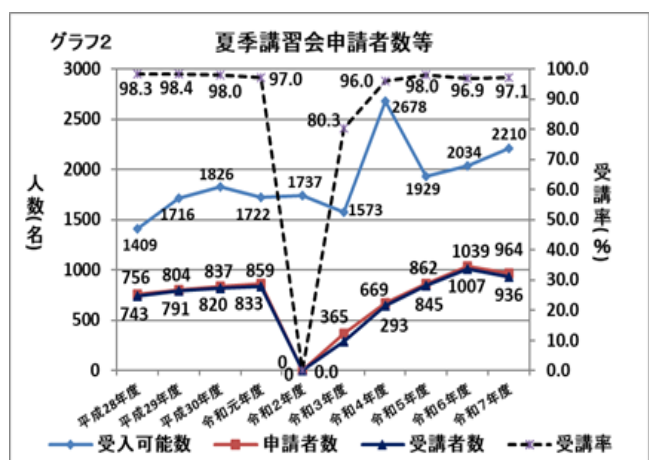
夏季講習会は、「対面による講習会」と「オンライン講習会」の開催となっている。オンライン講習会のみの実施講座は、8講座、対面とオンライン併用の講座は、2講座である。加えて、今年度は新たな試みとして、オンデマンドによる資格取得講習会(No. 121)を1講座開講し、4名の受講生がeラーニング養成課程で資格を無事取得された。また、No. 113～122の10講座は新規参加団体であり、新たな高大連携先（2大学）と産学連携先（5団体）を開拓することができた。

下図のグラフ1・2は、「夏季講習会の講座数・申請者数等」の過去10年間の推移である。

講座数・受講者数はコロナ禍で著しく減少したが、コロナ禍後の令和4年度以降は回復し、右肩上がりで見られている。希望定員に満たない講座も開催団体のご厚意で開講していただいた結果、今年度の開講予定講座数は122講座、受入可能受講者数は2,210名と昨年度とほぼ同じである。最終的には開講講座は109講座となり936名が受講した。開講率は89.3% 受講率は97.1%であった。



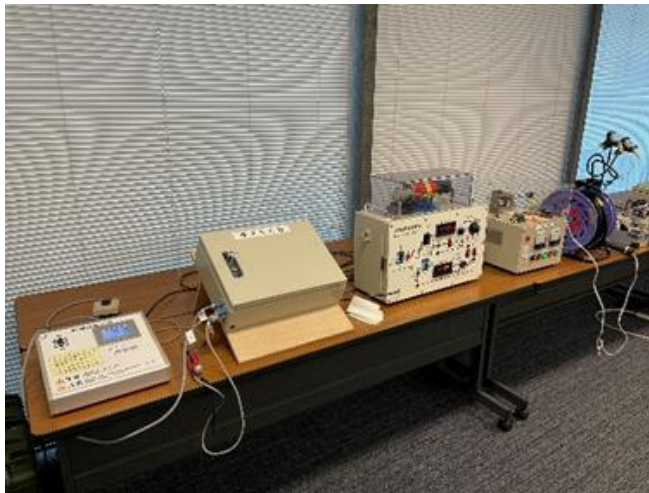
$$\text{開講率} = \text{開講講座} / \text{開講予定講座} \times 100$$



$$\text{受講率} = \text{受講者数} / \text{申請者数} \times 100$$



夏季講習会風景①(No. 23 LEGOSPKE プライムを使った Python AI 講座)



夏季講習会風景②(No. 72 作業現場から学ぶ『危険体験教育 (電気)』【東京会場】)

次年度も夏季講習会をよろしくお願ひします。